Ruby本 第8章 Moduleを理解する

P282 ~ P304 -

WEF 2105 Momo Hayashi

Moduleとは??

classと同じようにmodule内に関数の定義ができること、 複数のメソッドや定数を一箇所にまとめて整理しておくことができる

クラスの定義と同じ・・・ クラスとModuleは何がちがう??

Moduleとは??

クラス定義との違いは?

↑ Moduleからインスタンスを作成することはできない
greeter = Greeter.new
#=> NoMethodError: undefined method 'new' for Greeter:Module

▲ ほかのModuleやクラスを継承することはできない
module AwesomeGreeter < Greeter
end
#=> SyntaxError: systax error, unexpected '<'

Moduleの役割とは??

Moduleは、4つの目的によく使われます。

- インスタンスメソッドとして取り込む(Mix-in -include-)
- Moduleをオブジェクトに取り込む(Mix-in -extend-)

- 名前空間の提供
- Module関数

ModuleのMixinとは??

そもそもRubyでは、**単一継承** が採用されている (単一継承:クラスを一つしか継承できないという設計)

しかし、ModuleのMixinを使うことで 擬似的に**多重継承**を行っているようにコードを書くことができる!

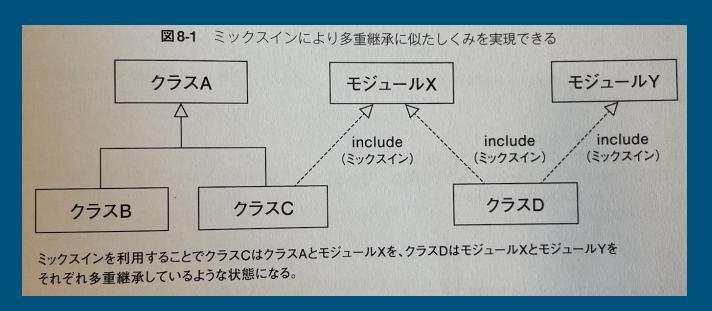
<u>•Mixinとは??</u>

Moduleをクラスにinclude, extend して機能を追加すること。 似たような機能を持っているが違う種類のクラスに対して 共有のメソッドを提供したい場合などに使用。

□重複を避けた、DRYに**則ったコード**を記述できる

ModuleのMixinとは??

- 多重継承を可能にするMixinでは、
 - Mixin先のクラスはどんなクラスでもOK!
 - ・1つのクラスに複数のModuleをMixinすることもOK!



ModuleのMixinとは??

ModuleのMixinには、includeとextendの2種類がある

Include

- ・対象のクラスに「include モジュール名」と記載する
- ・モジュールのメソッドは、クラスのインスタンスメソッドになる

Extend

- ・対象のクラスに「extend モジュール名」と記載する
- ・モジュールのメソッドは、**クラスメソッド**として組み込まれる

Module Mixin - include -

module Greeting def morning p "おはよう" end def night p "おやすみ" end end

```
class User
  include Greeting
end

user = User.new
user.morning
```

```
小 実行結果
```

"おはよう"

⇔「User」クラスに「Greeting」モジュールを読み込む例

Includeを利用すると、 モジュールのメソッドは、インスタンスメソッドになるので

user = User.new user.morning

のように、Userクラスから作成した<u>インスタンスから</u>、 Greetingモジュール内の morningメソッド を呼び出す。

Module Mixin - extend -

</> </> </> </> プログラム

module Greeting

def morning

p "おはよう"

end

def night
p "おやすみ"
end
end

class User
 extend Greeting
end

User.morning

</▶実行結果

"おはよう"

⇔「User」クラスに「Greeting」モジュールを読み込む例

Extendを利用すると、 モジュールのメソッドは、**クラスメソッド**になるので

User.morning

のように、<u>Userクラスから</u> Greetingモジュール内の morningメソッド を呼び出す (インスタンスを作成する必要がない)

Module Mixin - extend -

```
module Greet
  def say
    puts "Hello"
  end
end

obj = Object.new
obj.extend Greet
obj.say
```

⇔このような使い方もできる

空のオブジェクトを生成(obj)し、 extendを使ってGreetモジュールのメソッドを 特異メソッドとしてミックスインしています。

⇒includeでの拡張は静的であるのに対し、 extendは動的に対応できるので プログラムの柔軟性が増すらしい

ここからはModuleのもう一歩踏み込んだ使い方!



IncludeされたModuleの有無を確認する方法

- ・特定のModuleが含まれているか確認する方法: Class名.include?(モジュール名) #=> true/ falseで返される
- ・includeされているModule全てを確認する方法:
 Class名.included_modules #=> [Loggable, Karnel] 配列で返される
- •Module & Superclass を全て確認する方法:
 Class名.ancestors
 #=> [Product, Loggable, Karnel, Object, BasicObject] 配列で返される

Enumerable Moduleとは・・

Enumerable Moduleとは?

- ・Ruby Install時に自動的にシステムに組み込まれているModuleの一つ
- ・Array, Hash, Range, Enumerator等のクラスにincludeされている
- ・繰り返し処理を行うためのModuleで、 Module内のメソッドは全て each を使って定義されている
- ・自分で定義したクラスにincludeして使うことも可能。 (その際eachメソッドを必ず定義する)
- ・代表的メソッド: map, select, find, count, all?, include?

Enumerable Moduleとは・・

Enumerable Moduleのメソッドを利用することで、 左のコードを右のコードのように書くことができる

Array#each

```
for value in [1, 2, 3, 4, 5]

puts value
end

1

2

3

4

5
```

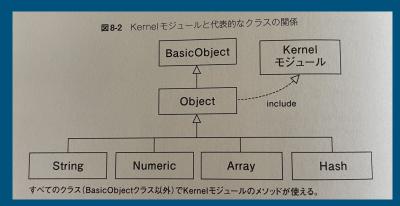
```
strings = []
for value in [1, 2, 3, 4, 5]
    strings.push(value.to_s)
end
strings.inspect # => ["1", "2", "3", "4", "5"]
```

```
[1, 2, 3, 4, 5].each do Ivaluel
 puts value
end
# Array#map
[1, 2, 3, 4, 5].map{ | value | value | to_s } => ["1", "2", "3", "4", "5"]
# mapをもっと簡単に書くと
[1, 2, 3, 4, 5].map(&:to_s) => ["1", "2", "3", "4", "5"]
```

Karnel Moduleとは・・

Karnel Moduleとは?

- ・Object クラスは Karnel Moduleをincludeしている
- ・RubyのプログラミングはObjectクラスを継承したクラスを使うことが大半なので、結果としてKarnel Moduleのメソッドはいつでもどこでも使える (いわばグローバル関数)になっている



・代表的メソッド: puts, p, print, require, loop

<<番外編>>

Rails の HelpersってModuleってかいてあるよね??

RailsにおけるModule - Helper -

Ruby on Railsで私たちが利用しているHelperの実体はModule。

```
module SessionsHelper-
condet current_user-
condet current_user || User.find_by(id: session[:user_id])-
condet current_user || User.find_by(id: session[:user_id])-
condet current_user || User.find_by(id: session[:user_id])-
condet current_blogs_path-
condet current_user.present?-
condet current_user.present?-
condet current_blogs_path-
condet current_user.present?-
condet current_user.present?-
condet current_blogs_path-
condet current_user.present?-
condet current_user.present.-
c
```

Helperに定義したメソッドは、Controller(クラス)、Vlewで使用が可能

しかし、ModuleのIncludeが見つからない・・・

RailsにおけるModule - Helper -

・rails5ではデフォルトで、全ファイルincludeされる設定。

```
By default, each controller

# will include all helpers. These helpers are only accessible on the controller through

#

# In previous versions of \Rails the controller will include a helper which |

# matches the name of the controller, e.g., <tt>MyController</tt> will automatically

# include <tt>MyHelper</tt>. To return old behavior set +config.action_controller.include.
```

Controllerに対応するものしか読み込ませたくない時は、 config/application.rbで設定可能!(helperを全てincludeしていると意図していない同名のメソッドが呼ばれる可能性があるため)

```
module xxx

class Application < Rails::Application

config.action_controller.include_all_helpers = false #これをセット!!

end
end
```

References;

- ・【Ruby入門】モジュール(Module)の使い方まとめ【include, extend, Mixin】 https://26gram.com/ruby-module
- ・【Ruby入門】Rubyのモジュールの使い方 https://uxmilk.jp/23190
- •RubyのEnumerableを使ってみる https://sandmark.hatenadiary.org/entry/20120306/1331052501
- ・【Rubyの基礎】配列の検索で使われるfindメソッドの使い方 https://style.potepan.com/articles/26676.html
- ・Ruby の Enumerable モジュールの使い方の覚書 https://blog.emattsan.org/entry/2020/04/30/193036
- •rails helper 基本 https://giita.com/yukiyoshimura/items/f0763e187008aca46fb4